

25 公共下水道事業等の推進について

(国土交通省・総務省・内閣府関係)

要望内容

財政措置

- 1 浸水対策
- 2 老朽化施設の改築
- 3 未普及地域の解消（公共下水道・農業集落排水処理施設・市営浄化槽の整備の推進）
- 4 合流式下水道の改善

(要 旨)

本市では、平成 26 年 8 月に、市域の北部を中心とした 1 時間雨量が 121mm という観測史上最大の集中豪雨により、甚大な被害が発生しました。さらに、平成 30 年 7 月に、市域の東部を中心とした 1 時間雨量が 72mm、4 日間の累加雨量が 489mm という記録的な豪雨により、再度、甚大な被害が発生しました。このため、このような災害から市民の生命・財産を守るため浸水対策をしっかりと進める必要があります。

また、本市では昭和 40 年代から集中的に下水道施設の整備を行っており、今後急速に老朽化施設が増加することから、将来にわたって下水道のサービスを安定的に提供していくためには、耐震性の向上を含めた老朽化施設の改築を一層重点的に実施する必要があります。

さらに、本市域は瀬戸内海環境保全特別措置法の対象地域であり、広島湾の水質環境保全の観点からも市街化区域外を含めた未普及地域の解消に向けて整備を進めるとともに、降雨時における未処理下水の放流対策としての合流式下水道の改善を積極的に進め、良好な水環境の創出を図ることが重要な課題となっております。

つきましては、これら公共下水道事業等の推進のための財源確保について、格別の御配慮をお願いいたします。

(参 考)

1 公共下水道事業等の概要

- 事業期間：昭和 26 年度～
- 事業内容（平成 31 年 3 月 31 日現在）

公共下水道	合流	分流	計
整備計画区域面積	2,595ha	1万4,172ha	1万6,768ha
計画処理場数	3箇所	3箇所	6箇所
計画ポンプ場数	15箇所	57箇所	72箇所
農業集落排水	汚水	—	計
整備計画戸数	5,974戸	—	5,974戸
計画処理場数	13箇所	—	13箇所
市営浄化槽	整備	既設引取	計
計画設置数	約3,500基	約1,200基	約4,700基

- 事業進捗（平成 31 年 3 月 31 日現在）

整備目標		計画	整備済	進捗率
①	浸水常襲地区の床上・床下浸水解消率 ^{※1}	2,000ha	820ha	41.0%
	老朽管路改築率 ^{※2}	66km	46km	69.7%
②	老朽設備改築率 ^{※3}	460基	350基	76.1%
	汚水処理人口普及率	119万4,524人	115万4,499人	96.6%
③	市街化区域内	114万2,245人	112万8,824人	98.8%
	市街化区域外	5万2,279人	2万5,675人	49.1%
④	合流改善達成率	2,632ha	2,357ha	89.5%

- ※1 中心市街地において深刻な浸水被害が発生している 2,000ha における床上・床下浸水解消面積の割合
- ※2 老朽化が著しく平成 27 年度から 5 年以内に改築が必要と判定された管路 66km のうち改築済管路延長の割合
- ※3 耐用年数を大きく経過した施設で、平成 27 年度から 5 年以内に改築が必要と判定された主要設備 460 基のうち改築済設備数の割合

2 位置図

